

平成 27 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所
代表者名 代表取締役社長 二村 勝彦
(JASDAQ・コード 6469)
問合せ先責任者
役職・氏名 取締役管理部長 大村 亮
電話 046-250-3951

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、このたび、2016年2月期（第55期）から2018年2月期（第57期）までの3ヵ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画ローリングについて

中期経営計画は3ヵ年の環境変化等を想定して策定するものですが、環境の変化に機敏に対応すべく、毎年のローリング（中期経営計画の再策定）を実施します。なお、年度でのローリング実施を基本といたしますが、大きな環境変化が認識される場合には、期中でのローリングを実施することといたします。

2. 中期経営計画基本方針

当社グループは、「新たな成長ステージへの挑戦」をスローガンとして掲げ、新しい事業領域として民間航空機エンジン部品事業をスタートいたしました。さらに既存事業をより磐石なものとし、新規事業・新規アイテム拡販への礎を築くべく積極的な事業展開を図り、高い成長の持続を目指し、今までのビジネスモデルである受託加工から、航空機エンジン部品事業を始めとする新しいビジネスモデルとして部品メーカーへの転換を目指します。

3. 中期計画の業績目標（連結）

（単位：百万円）

	2015年2月期 実績	2016年2月期 業績予想	2017年2月期 計画	2018年2月期 計画
売上高	10,024	10,336	11,906	13,553
営業利益	577	325	999	1,368
経常利益	633	183	943	1,360
当期純利益	451	113	402	829

2016年2月期につきましては、新たな成長ステージへの準備段階と位置づけております。2014年9月に航空機エンジン部品の生産を目的に新設いたしました小牧事業所（愛知県）は、現在、航空エンジンメーカーでありますロールスロイス社の認証取得に向けて審査を受けており、更にこれから、航空宇宙産業における特殊工程に対する国際的な認証制度であります Nadcap を取得するための準備に入ります。これらは今秋までに取得できる見通しではありますが、2016年2月期は減価償却費をはじめとする費用が先行するため利益は一時的に減少いたします。

2017年2月期以降につきましては、航空エンジン部品事業は順調に拡大し、2018年2月期には黒字化する見通しであります。また、デジタルサーボプレス ZENFormer 等についても順調に推移するものと見ております。

この中期経営計画は、本資料策定時点において入手可能な情報に基づいて策定したものです。実際の業績などは、今後さまざまな要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以上